

自ら学び、共に伸びる

令和8年度が始まりました。本年度も府中小学校の学校教育目標は、「自ら学び、共に伸びる」です。

府中小学校の子供たち(府小っ子)は、明るく素直で、前向きに取り組む姿が魅力です。本校の誇りである読書活動も充実し、多くの本に触れる中で、感じたことや考えたことを自分の言葉で表現する力が育っています。縦割り活動では、上級生が下級生を思いやり、優しく関わる温かい姿が見られます。

私は、そんな府小っ子たちが大好きです。この子供たちの未来が輝くものであってほしいと願っています。一方で、私たち大人は、子供を思うあまり、つい失敗やつまずきを先回りして取り除きたくなることがあります。しかし、それが本当に子供たちの力になるのか、立ち止まって考えることも大切です。

学校は小さな社会です。人と関わりながら楽しんだり悩んだり、努力してやり遂げる達成感を味わったり、時にはけんかや失敗を経験したりしながら、「次はどうするか」を自分で考え、乗り越えていく力を育む場所です。こうした経験こそが、将来に生きる“根っこ”となる力になると考えています。この願いを込めたものが「自ら学び、共に伸びる」という学校教育目標です。

4月8日の始業式では、子供たちに次のように伝えました。

『自ら学ぶ』学ぶのは「自分」です。得意なこと、苦手なことは人それぞれ違って当然です。でも、どんな勉強も、誰かが代わりにしてくれることはありません。言われてする勉強も大事だけど、学ぶ中で自分から「知りたい」「わかりたい」「やってみたい」「考えたい」など、たくさん「～たい」を見つけましょう。

『共に伸びる』あなたの周りには同級生、上級生、下級生などいろいろな人がいます。人と関わりながら勉強することで自分だけでは気づけなかったことに気付いたり、一人ではできないことができたりもします。時には、自分とは考えが違う人もいるでしょう。そんな時、すぐに怒ったり、手を出したりするのではなく、言葉で思いを伝えること、相手の思いを聞くこと、我慢したり譲り合ったりすること、それも大事な勉強です。みんなで今年も『自ら学び、共に伸びて』いけるように頑張りましょう。」

また、子供だけでなく、私たち教職員も教育的愛情を大切にしながら学び続け、互いに高め合い、子供たちの成長のためにチーム一丸となって取り組んでいきます。

本年度も、学校・家庭・地域が力を合わせ、府小っ子たちを共に育てていけるよう、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

